

糸我小学校だより

令和6年7月19日①



夏休みが始まりました！

この1学期の4ヶ月間、子供たちが命に関わるような大きな怪我・事故に巻き込まれることなく夏休みを迎えることができました。これも日頃から保護者の皆様、地域の皆様方に、子供たちの安心・安全な学校生活の実現に向け、また、本校の教育活動の充実に向けて、ご支援・ご協力をいただいたお陰と感謝しております。ありがとうございます。

夏休みには、子供たちが地域の中で過ごすことが多くなると思います。保護者・地域の皆様方にはお手数をおかけすることもあるかと思いますが、子供たちが安全で楽しく充実した夏休みを過ごせるよう、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。



アメリカの高校生が来てくれました

今年は、ニューヨークのマスターズスクールの高校生14名が糸我小学校の見学に来てくれました。朝の歓迎式では、児童の校歌斉唱や「あしたもともだち」という歌を歌い歓迎しました。



その後、各学年を回り子供たちと一緒に活動してくれました。折り紙や毛筆の練習、七夕の飾り作り、体育の授業などなど、色々な活動を一緒にしました。子供たちの反応も色々で、積極的に声をかけにいく子や恥ずかしがっている子など様々でした。そんな子供たちに笑顔で優しく接してくれている高校生たちは大人気でした。給食の時間も子供たちと食べましたが、献立は、ごはん、ブロッコリーのゴマおかか和え、ひじき煮などアメリカの高校生には少しハードルが高かったかも知れません。



10年後、子供たちが社会の担い手になる頃には、国際化が進み、外国の人との壁がぐんと低くなり、日常的に会話しているかも知れません。今日、楽しくすごした時間は、子供たちにとって大きな意味があったと思います。



不審者対応避難訓練

6月25日(月)に有田市青少年センター長の兒島昭人さんにお越しいただき、不審者対応避難訓練を実施しました。

まず、標語「いかのおすし」をもとに、不審者にあつたときの対応の仕方を学びました。次に、不審者との距離の取り方や、腕を捕まれたときにジタバタして抵抗することや、背後から捕まったときのロケットダッシュによる逃げ方等を、実技を交えながら教えてもらいました。願わないことですが、学んだことを覚えておき、もしものときに自分の身を守るようにしてもらいたいです。



兒島センター長



ロケットダッシュ



ジタバタ抵抗しています



車から声をかけられたら

キッズサポート・スクール(2・5年生)

7月8日(月)2年生と5年生に和歌山警察本部生活安全部少年課少年サポートセンターから2名の先生をお招きして「キッズサポートスクール」を実施しました。

「キッズサポートスクール」は規範意識の向上を目的として警察と学校が連携して行うもので「正しく判断し、行動できる子」の育成を目指した授業を行います。身近な問題を取り上げ、物事の善悪を考えたり、いじめは犯罪であること、決まりを守ることの大切さ、決まりを守らなかった場合の事例等をお話いただき、一人一人が「心のブレーキ」をもたないといけないことを学習しました。子供も私たち大人も「心のブレーキ」をもって、しっかりきかせるようにしたいものです。



糸我小学校学校運営協議会

糸我小学校の学校運営協議会は、保護者の方や地域住民の方たち10名で構成されています。この10名の方と学校代表者3名(校長、教頭、教職員代表)が、年間4、5回集まって、学校運営について話し合っアドバイスをいただいたり、学校運営への支援・協力の輪を広げてくださったりしています。

6月21日(金)には、育友会委員と学校運営協議会の合同研修会が行われました。今年で4回目となる本研修会は、育友会の保護者の方たちにも学校運営協議会を知ってもらうことを大きな目的として行われています。そして、育友会委員と学校運営協議会委員が研修の感想や最近思うこと感じる事等について活発に意見が交わされました。



糸我小学校だより

令和6年7月19日②



みかん摘果体験（3年生）

子供たちの身の回りであっても気付いていないことがあります。みかんもその1つではないでしょうか。「みかんの花っていつ咲くの?」「畑でどんな仕事をしているの?」など子供たちにとって、知らないことが意外と沢山あります。

以前にも記事にしましたが、3年生の総合の時間の学習では、みかんについて学習しています。今年も宮本 正弘さんにお世話になり学習を進めています。5月には「摘蕾」「肥料の散布」等を体験させていただきました。今回は「摘果作業」を体験させていただきました。7月9日（火）に、宮本さんの畑の倉庫にお邪魔しました。熱中症対策で日陰での学習を考えてくれました。「なぜ摘果が必要なのか」や「摘果の仕方」等、自作のパネルを使ってわかりやすく教えてくださいました。その後、マルチを敷いたり、空調服まで着せていただきました。

地域の産業のひとつであるみかんの学習を今後の理科や社会の学習につなげてほしいです。また、これらの体験を通して、地域の方の産業や地域への思いを感じてほしいと思います。



いじめの防止のために

いじめは、児童の心身の健全な成長に重大な影響を及ぼします。そして、被害者、加害者だけの問題ではなく、その周りには、はやし立てたり面白がって見ていたりする観衆、見て見ぬふりをする傍観者も存在します。SNSでのいじめなど、その形態も変化してきています。いじめは、すべての児童にかかわる問題であると知らせ、当事者意識をもつようにすることが大切です。

学校では、「いじめ防止基本方針」を策定し、職員で研修し、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に努めています。集団で生活をするなかで、人間関係による問題が発生することがあります。それがいじめ問題にならないようにするため、お互いを認め合うあたたかい人間関係を築けるように取り組んでいます。また、早期発見、早期対応をするため、いじめアンケートを実施しています。そして、いじめと考えられる事が出てきた場合は、聞き取りをし、解消するように対応しています。今後も、「いじめはだれにでも起こりうる」という認識をもって、アンテナを高くして、子供たちを見守っていきたいと思います。

ご家庭や地域でもお気づきのことがありましたら、学校にお知らせいただきたいと思ひます。



消費者教育「インターネットと付き合う方法」



7月16日（火）県の消費者教育支援事業で講師の派遣依頼をしました。5・6年生を対象に、パソコン・携帯・スマホの注意点とマナーなど、実際の消費者トラブルを踏まえた内容を通じて、学習しました。ゲームの課金や投げ銭についてもお話しくださり、使い方を誤ると大きな問題につながることを教えてくださいました。夏休みを迎えるこの時期でもあり、マナーやルールを守ってかしこく、楽しく活用してもらいたいです。

生馬知季選手、パリ・パラリンピック出場決定

糸我出身の生馬知季選手が前回の東京パラリンピックに続き2大会連続の出場が決定しました。パリ大会では、100m（車いすT54）と混合400mユニバーサルリレーの代表に選ばれたそうです。東京大会が終わった後、生馬知季選手が糸我小学校に来てくださったことがあります。その時に子供たちに向けて「夢をもつこと」の大切さをお話ししてくださいました。今回、2大会連続出場を果たした生馬選手が再び夢を叶えたこと、その夢を実現させた強靱な精神力は子供たちにとって大きな励みになると思います。これからも子供たちみんなで生馬選手を応援したいと思います。生馬選手の応援旗を全校児童で作りました。みんなの手で生馬選手の背中を押すイメージで、「がんばれ」の思いを込めて手形を押ししました。



1年生



2年生



3年生



4年生



5年生



6年生



祝 生馬 知季 選手 パリ・パラリンピック代表決定!

生馬知季選手、代表決定おめでとうございます。前回の東京パラリンピックに続き2大会連続代表入りを果たされたことを、とても誇らしく思います。学校としても、地域の皆様とともに生馬選手を応援いたします。頑張ってください!

【競技歴など】

高校生の頃に陸上を始め、先駆者でもある松永選手のもとで急成長。2016年の日本パラ陸上男子100m200m優勝。翌2017年の世界パラ陸上の代表に選ばれ、男子100mで日本選手団唯一の決勝進出を果たす。車いすT54男子200mの日本記録を持つ。（NHKホームページより）